

1 学校経営方針

『教育方針』

- (1) 憲法、教育基本法、学校教育法等の法令及び長崎県教育方針、諫早市教育方針にのっとり、次世代の社会を牽引する人材の育成を目指し、心身ともにたくましく、自ら求めて学び、考え、判断し、行動できる生徒の育成に努める。
- (2) 使命感に徹し、深い愛情と情熱をもって、指導力の向上に日々努めながら、全職員が一体となって教育目標の具現化に努める。
- (3) 森山中学校の伝統と校風を大切に引き継ぎながらも、さらに発展させ、ふるさと森山を誇りに思い、地域とともにある開かれた学校を目指す。

『学校教育目標』

ふるさと森山を誇りに思い 心身ともにたくましく 自ら考え、主体的に行動する生徒の育成

『校訓』

「自律 創造 健康」

『めざす生徒像』*【良質の生徒（の育成）】	
○自ら学び、考え、判断し、主体的に行動する生徒	(自律)
○志を持ち、未来を切り開こうとする生徒	(創造)
○健やかで強い心身に鍛え、互いを認め、高め合う生徒	(健康)
『めざす学校像』*【良質の学校（と教育の提供）】	『めざす教師像』*【良質の教師（としての研修）】
○安全・安心で、活気あふれる学校	○生徒とともに、学び続ける教師
○志を育み、学びと感動のある学校	○生徒の可能性を引き出せる教師
○地域とともにある、開かれた学校	○前向きにチームで取り組む教師

2 重点努力目標

教職員一人一人が学校経営参画意識をより高め、全職員の力を結集して学校力向上に努め、教育目標の具現化を目指す。そのために、学年・学級経営や校務分掌の運営を共通理解のうえで、実践する。行事等の立案は、単純な前年度踏襲を避け、その効果と生徒・職員の負担を検証し、改善を図ることで、より機能的に運営する。また、学年・学級経営、校務分掌の隙間を埋めるためにも、学年・教科・世代を越えて、生徒のためにチームで取り組*み、その成果を職員全てで共感する職員室を目指す。

具体的には、主に校訓に沿って分類し、次の1～4に取り組む。

1 自ら学び、考え、判断し、主体的に行動する生徒 【自律】(*学力向上)

- (1) 「わかった」「できた」が実感できる授業づくり
 - ① 基礎基本の習得とそれらを活用できる授業（「ねらい」「まとめ」「振り返り」）
 - ② 対話的な授業（言語活動）の充実（学んだことを伝える、ワークシート等を書く作業）
 - ③ ICTの効果的な活用（GIGAスクール*構想の推進）
 - ④ 学習習慣の確立（自学ノート、家庭学習の工夫）
 - ⑤ 全国学力・学習状況調査や県学力調査、標準学力検査（1月実施）等の結果の活用
 - ⑥ 総合的な学習の時間（行事との関連づけ、教科横断的な知識の活用）
- (2) 校内研修の充実
 - ① 本校（生徒）の課題に応じた校内研修の実践
 - ② 新学習指導要領の趣旨に沿った評価の実践。
 - ③ 教科の枠を越えた共通実践と互いに学び合う研修の実践。（授業公開）
 - ④ 特別の教科道徳（持ち回り道徳の継続と強化）

*⑤ 小中連携による学力向上の取組

2 志を持ち、未来を切り開こうとする生徒【創造】

◇キャリア教育、生徒の自主活動・体験活動等の推進

- ① 系統的な進路指導の充実
- ② 小・中・高の連携
- ③ 地域行事への積極的な参画、地域人材の活用（職業講話、森山ウォークなど）
- ④ 生徒会活動の充実（可能な範囲で、ボランティア活動への参加）

3 健やかで強い心身に鍛え、互いを認め、高め合う生徒【健康】（*心の教育）

(1) 安全・安心な学校づくり

- ① きめ細やかで積極的な生徒指導
- ② いじめ防止と早期発見
- ③ 教育相談の充実
- ④ SNSに関するルール・マナーの指導
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 平和・人権・同和教育の推進
- ⑦ 危機管理の徹底

(2) 体力向上の推進

- ① 健康教育及び保健指導の推進と充実
- ② 食育の推進と給食指導の充実
- ③ 部活動の奨励と充実
- ④ 自力通学（徒歩又は自転車）の奨励

4 働き方改革の視点から*【良質の学校、良質の教育、良質の教師、良質の手抜き、仕事にワクワク感を】

- ① 定時退庁日・ノー部活デーの位置づけ（毎週水曜日）
- ② 諫早版働き方改革

◇業務：電話対応時間の設定、安心メールの導入（配布文書のペーパーレス化）

◇部活動：ガイドラインの遵守、休日の練習等は指導者や保護者が主体となる。平日の練習でも協力を求める。

◇休日のPTA活動や地区行事：無理をせず、家庭や地域住民であることを優先。

- ③ 学校行事等の精選、規模の縮小など。（コロナ過を経ての見直し）
- ④ 評価について：「総合的な学習」は2学期、「特別の教科道徳」は3学期に記載。
- ⑤ 「通知表所見」は、全学年とも3学期に記載。
 - ・成長、がんばった活動、生徒のよさ、努力した過程等を生徒、保護者の視点に立って
 - ・次年度に向けての励ましや意欲を持たせるような記述を心がける。
- ⑥ 学年経営案又は学級経営案の記載事項の一部と目標管理シートの記載事項のリンク
- ⑦ 指導要録等作成の役割分担と作成スケジュールにそった早めの取組
- ⑧ 生徒同士が教え合う、学び合う、場面の設定と活用（教師の役割を生徒が担当）
- ⑨ 職員同士の声掛けやサポートできる雰囲気づくり（学年や分掌等のすき間を埋める）

※無理なことや困ったことは相談を。お互い様でいきましょう。

※病休、休職代替者の現状について

※森山中の強み（職員室の雰囲気、チームで取り組む、受容の精神、おもてなし等）

⑩ 校務の情報化の改善・推進

- ◎ 「校舎内と授業の巡視（授業の雰囲気、欠席、教室環境、コロナ対策、安全点検、トイレのスリッパ等）」
- ◎ 「森山中のため、生徒のため、保護者のため、地域のため、*職員自身とその家族のために働く」
- ◎ 「名目上、学年と担任、副担任の区別はあるが、学年担当で学年の全生徒を見る、全職員で全校生徒を見る」
- ◎ 「教職員の頭領は教頭、職員に何かあれば教頭の管理責任が問われる。教頭の責任ということは校長の責任。ただ、管理職が何も知らないことは、火に油を注ぐことになるので、必ず事前の報告を」
- ◎ 「起案：誤字脱字の確認、リスク管理」
- ◎ 「仕事の徹底：例えばテスト監督、職員間で確認を」
- ◎ 「知力・徳力・体力を上げる：知力に関する諫早の現状、教育長の言葉、新たな人事評価」